

I. 調査概要

1. 調査の目的

リニア中央新幹線については、2027年に先行開業を目指す東京・名古屋間において各所で工事が着々と進んでいる。また、名古屋・大阪間の整備についても、2045年の開業予定となっていたが、昨年度から早期の全線開業に向けて財政的支援が行われており、最大で8年間前倒しされる可能性が生じてきている。本市としても、これらの動向を契機として、リニア中央新幹線市内停車駅の誘致に向けた活動を積極的に展開しているところである。

本調査は、誘致活動の実施及び市内停車駅設置後のまちづくり等を検討していく際の基礎的資料として、先行開業を予定する東京・名古屋間の開業及び東京・大阪間の全線開業の際に本市に停車駅が設置された場合の社会・経済的な影響・効果について調査・分析を行うものである。

2. 調査内容（調査フロー）

- (1) 亀山市における人口、産業、交通インフラ等の内部環境を概観・整理する。
- (2) わが国の社会・経済の潮流、三重県及び亀山市周辺地域の状況や計画など亀山市を取り巻く外部環境面について概観・整理する。
- (3) 新幹線駅設置による変化・影響を検討するために既存新幹線停車駅所在都市の状況について人口動態、産業等の側面を定量的に整理する。
- (4) 上記で定量的な分析を行った停車駅所在都市へヒアリングを行い定性的な影響・変化を整理する。
- (5) リニア中央新幹線亀山市内停車駅（以下、「亀山中間駅」という）の設置により想定される時間短縮効果を等時間圏域図等を用いて確認し、時間短縮による期待エリア等の把握を行う。
- (6) (1)～(5)の調査から浮かび上がる事象を整理することで、導かれた事項をキーワード的に抽出し、SWOT分析の手法を用いて整理する。
- (7) 調査のまとめとして、リニア中央新幹線中間駅の設置により予想される影響・効果や亀山中間駅に求められる機能・役割及び目指すべき方向性・検討項目について確認する。

<調査フロー図>

